

## 令和元年春の外国人叙勲

### シャム・サラン氏の旭日重光章受章

2019年5月21日  
在インド日本国大使館

2019年5月21日、日本政府は、令和元年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でシャム・サラン元インド外務次官が叙勲されることが公表されました。サラン氏は、日印間の戦略的関係の強化及び相互理解促進へ寄与した功績が認められ、本年、旭日重光章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日重光章
- ・功績概要： 日本・インド間の戦略的関係の強化及び相互理解促進に寄与
- ・主要経歴： 在日本インド大使館次席（1986年～1989年）  
インド外務次官（2004年～2006年）  
インド首相特使（2006年～2010年）  
途上国研究・情報システム理事長（2011年～2017年）  
インド国際センター終身評議員（2017年～現在）

サラン氏は、昭和61年から平成元年まで在京インド大使館次席公使として、日印間で初の試みとなる大規模な文化祭「インド祭」の開催・成功に尽力し、日印間の相互理解促進に大きく貢献しました。また、平成16年から平成18年までは、印外務次官として、日印関係を戦略的協力関係に引き上げ、在職中には、日本の総理として5年ぶりとなる小泉総理大臣(当時)の訪印を実現させました。同訪印以降、両国は互いを戦略的に重要な協力パートナーと位置づけて、その関係を深化・拡大してきており、サラン氏は現在の日印関係の骨格を成す、様々な協力関係の素地形成に大きな貢献をしました。

また、日本と関係の深いインド国際センターの終身評議員も務め、平成29年には「日印会議」を開催する等、対日・相互理解促進に貢献してきています。

在インド日本国大使館は、今回の叙勲に際し、サラン氏の長年に亘る尽力に対する敬意を表します。